

オリエンテーション委員会計画

委員長 加藤 泰輔
副委員長 桑原 秀樹
副委員長 早川 剛
幹事 彦坂 宗

【基本方針】

年々全国的に青年会議所のメンバーが減少している中で、我々、社団法人上越青年会議所のここ3年間のメンバー数は若干ではありますが増加しているという事実は、紛れもなくこの地域に対して結果を残した事業を行ってきた賜物と受け止めても良いのではないのでしょうか。しかし、2011年度からの3年間は団塊ジュニアの世代が多数卒業するという現状を踏まえ、道徳的規範の尊重や若いメンバーの積極的な青年会議所活動への参加など「健全な新陳代謝」をしていくことを私たちは重要課題として捉えています。

本年度オリエンテーション委員会では、青年会議所の「学び舎」としての機能を最大限に活かした活動をし、健全な新陳代謝を進めていきます。青年会議所活動の最も大きな手柄は、「求めていたこと」と「求めていた以外のこと」を併せて受け取れるところにあります。特に「求めていた以外のこと」についてが大切で、それを得た時に「気づき」が発動し「学び」へと繋がっていくものと思います。まず、最初にこの部分の理解を深め、青年会議所活動への積極的参加の動機づけをしていく活動をしてまいります。次に、私たちを「学び」へと導き、成熟した大人へ成長をさせてくれるメンターの存在が必要不可欠です。常にメンターを探し求めるセンサーを稼働させるためにより多くの人との出会いの場を作ります。更に、クリーンナップ上越やわんぱく相撲、福祉交流事業、11月担当例会など地域における事業をとおして「気づき」を得ると同時に本年度から始まる新たな仲間との絆を深めてまいります。また、当委員会が担当する事業の実施だけではなく、他委員会の事業や各種大会への参加を促し、様々な分野のことがらについて学ばせていただく努力をしていきます。

最終的に「学び」は、“学び取る”ことから“学び与える”ところに昇華されなければなりません。メンバー一人ひとりにはこの学びの連鎖を引き継ぐ者として自覚をしていただき、将来自分の発言や行動がこの組織や地域で影響力を持つような人材になっていただけるよう育成に努めてまいります。

委員会職務分掌＜事業内容＞

1. OB交流会の開催
2. クリーンナップ上越の開催
3. わんぱく相撲の開催
4. 福祉交流事業の開催
5. 11月担当例会の開催